

私の出会った人たち

(6)

関谷啓子

2018年 夏

6・05

Mさんは車椅子での生活ですが、何故か今日は上体がかなり傾いていて、

いくら直してもすぐに傾く・・・と言う1日でした。

時々こんな日があります。

しかし、オヤツも夕食も完食でしたのでご安心ください。

6・12

今日のご機嫌で、昼食もおやつゼリーのペロリでした。こちらが一方的に話しかけてい

ると時々「そうやねえ～」とはっきりした返事。

「あれっ、聞こえてはるのですか？」と尋ねると声を立てて笑われます。今日はそんな日
でした。

足の爪、固くて左の親指は水虫ではないかと思いました。スタッフの方にお聞きしましたが「そうではない」との返事。

切りにくいのは承知ですが、本人が気持ち悪いだらうから切ってほしい・・・とお願いし
て帰りました。

6・15

元気な桔梗や紫陽花をたくさん頂いたので、お福分けに持って行きました。

眠っておられたので起こさずにスタッフの方と話して帰りました。最近は調子が良いですよ・・・との話に安心しました。

施設には新しい入居者があり、慣れるまではなかなか大変なようです。怒ったり泣いたりスタッフさんも応待に大変です。

昔、Mさんが入居されたときもこんなだったかなあ～と思いながら、廊下まで聞こえてくる声を聞きました。

変な時間に行ったのでおやつは持参しませんでした。

6・20

午前中に行ったので、洗濯の仕上がりを待つ間ゆっくりと昼食の介助ができました。パクパクと気持ちの良い食べっぷりで完食。

オヤツも楽しみにしておられますよ・・・とスタッフさんの声かけ。

6月なので「水無月」にしましたが、小さく切り分けると上手に食べられます。

口から物を食べるのはエネルギーがいらいます。そうして食べた物は身について元気になります。

胃ろうにした私の父は、決まった時間に栄養が機械的に管を通じて身体に入りましたが、少しも元気にならず、楽しそうでもなかったのを思い出しました。

ミキサー食でも、口に入れてあげる時は「はい！口を大きく開けて・・・。そうそう上手

ですね」などとついつい大きな声で喋ってしまいます。

これも刺激になって良いかも・・・と勝手に解釈しています。

先日持参の桔梗も紫陽花も今日見たら見事にドライフラワーになっていてガッカリ。

忙しいスタッフの方にそこまで期待はできません。

6・26

梅雨に入って雨が続くらしいので、乾きやすいパジャマを用意しました。楊柳でサラサラと肌触りが良いのです。

今日のおやつは夏らしく「鮎のお菓子」にしました。Mさんは求肥がお好きのようです。

喉に詰まらないように皮で包みながら少しずつ口に入れましたが大丈夫でした。

7・3

ロビーにいらしたので、お部屋に移動。両手で顔を覆っておられましたが、おやつを出す
と匂いがしたのか手を外されました。

バウムクーヘンだったので右手に乗せてみました。ゆっくりと口に運ばれますが、なかなか口の場所が？わかりません。

最初だけ、ここですよと誘導するとあとはちゃんとできます。食べ終わると「美味しかったですよ」とはっきりおっしゃり恐縮します。

スタッフの方も「オムツ交換の時は大変ですが、終わると ありがとう とお礼を言ってくださるのが励みになります」と話しておられます。

こう言うのは生来の事なのだろうかと思ったりします。いずれ同様の道を行くことになる

のだから今から心がけておかなくては・・・と教えられました。

7・17

遅い時間でしたが、お顔を覗きに行きました。ベッドで横になっておられましたが、スタッフの方が起こして車椅子に座らせてくださったので、

ハンドマッサージをしたり髪をといたりして一方的に私が話しかけました。

最初にご機嫌斜めだったのですが、だんだんと機嫌がなおられ、今度は私の手をマッサージしてくださいました。

初めは私の手を握って何をされているのかわからなかったのですが、マッサージをしてくださっているのだと気づいた時はちょっと感動。

将来、全く話ができなくなっても、「触れ合う」と言うのは感覚として解ってもらえるのでは・・・と先日から思っています。

手が終わった後、自己流でデコルテをマッサージしたら、頭を私に預けてゆったりとリラックスされたようでした。

あのような表情は初めてでしたのでちょっとびっくりして、色々と考えさせられました。

7・31

暑い日が続いていますが、施設内は温度調節されているので、Mさんは汗もかかずに元気です。

ただ、髪が伸びてうなじの辺りがもしゃもしゃしていたのでカットの予約を入れました。

8月に入れば出張美容師さんがきてくださいますので。

今日は覚醒も良く、「茶摘唄」を歌うと私の膝をトントンと叩いてリズムを取ることもできました。

だめな日は何を試みてもダメなので嬉しい1日でした。

8・3

今日はなぜか洗濯物が多く2回に分けてやりました。下着が多かったのも、体調が悪かったのかもしれませんが、スタッフからの特別な連絡はありませんでした。

持参のプリンはツルツルと喉を通ったようです。

話しかけても反応がなく、食事のとき以外はずっと顔を覆ったままでした。

もうすぐ、御主人の命日なのでそんな話もしたのですが……。

夕食は鱸の揚げ物・人参グラッセ・オクラとカボチャの蒸し物・にゅうめん・ご飯でした。

ゆっくりですが完食。

8・21

夕食が始まった時は明るくて、サーッと通り雨のあと、まだ日が残っていました。

みんなが黙々と食事をしていると「あっ 大きな虹！」と誰かの声。

思わず外を見ると、本当に信じられないような大きなクッキリとした虹です。

片脚は雲の中に消えてしまったかと思って視線を移すと随分離れた場所に続きが見えます。

思わずワァーと叫んだほど立派な虹でした。

俯いていた人も車いすの人もみんな、しばらくは言葉もなく虹を見ました。

スタッフの方が動けない人を窓際まで運んで下さったのも嬉しいことでした。

最近は4階の入居者が少なくなって、食事も以前ほど賑やかではありません。

皆、黙々と食べて、終わった人から歯磨きを済ませ7時には人影も無くなるのがいつもの風景でしたが、

今日は思いがけずみんなで虹を見て食堂の雰囲気が一気に明るくなり、生き生きとしました。

なんだか得した気分。この時間にこの場所に居合わせなかったら、私も俯いたままで気付かずに過ごしていただろうと思うとMさんに感謝。

「今夜は良い夢みられそうですね」と言って退室しました。